

平成 19 年度東北ブロック水産業関係研究開発推進会議報告書

会議責任者	東北区水産研究所長
-------	-----------

1. 開催日時及び場所 日時：平成 19 年 12 月 10 日（月）13:30～18:05  
 12 月 11 日（火） 9:00～12:00  
 場所：塩釜商工会議所（塩竈市尾島町 17-8）  
 （議事次第：別添 1）
2. 出席者所属機関及び人数 23 機関 35 人 （出席者名簿：別添 2）
3. 結果の概要

議 題	結 果 の 概 要
（1）東北ブロック 推進会議の運営につ いて	本会議の運営規程・細則を確認した。
（2）ブロックにお ける連携協力につ いて	
1) 研究開発体制の現 状と問題点に関する 報告	<p>東北ブロック各機関が抱える研究開発推進上の問題点、主要研究課題の進捗状況の概要、H20 年度予算獲得に向けた新たな研究課題計画の概要が報告された。</p> <p>①各県が共通して抱える問題として、次年度以降の大幅な予算削減、定員削減が計画されていることが報告された。</p> <p>②平成 21 年度から農林水産系と工業系を一つの独立行政法人とすることが青森県から報告された。</p> <p>③ナマコ産地づくりの現状が岩手県から報告された。</p> <p>④カキのノロウイルスによる食中毒の未然防止対策やマボヤの人工採苗実用化試験の現状が宮城県から報告された。</p> <p>⑤地球温暖化で懸念される農林水産分野への影響について具体的事業内容を検討中であることが福島県から報告された。</p> <p>⑥水産試験場と内水面水産試験場を統合する再編整備および庁舎の新築を検討中であることが茨城県から報告された。</p> <p>⑦高度化後継「新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業」では可能な限り県が中核機関を担い、水研センターとともに積極的に提案課題を検討するよう水研センター本部から要請された。</p> <p>⑧「農林水産省地球温暖化対策総合戦略」の策定にともない水産分野においても地球温暖化関連の予算要求中であることが水産庁から報告された。</p>

議 題	結 果 の 概 要
2) 研究開発の重要課題に関する意見交換	<p>①わかめ養殖業の生産システムの再構築：機械化によるわかめ養殖業の生産性向上と経営安定をテーマに岩手県が、水工研、民間と共同で事業化を検討していることが紹介された。</p> <p>②貧酸素が発生する仙台湾のアカガイ・マコガレイ資源管理技術開発：貧酸素水が水産資源に与える影響を解明して漁場環境の悪化等に対応できる管理手法の開発と実用化を図ることを目的として、宮城県が、東北大学、東北水研などと共同で課題化を検討中であることが紹介された。</p> <p>③アワビ類の個体群変動機構に順応した資源管理・増殖技術の開発：海洋環境がアワビ類資源に与える影響を解明して資源管理・回復技術を開発するため、東北水研が、他水研、関係各県、東大海洋研等と共同で課題化を検討していることが紹介された。</p> <p>④沖合漁業における新漁業生産システム開発調査：沖合漁業に資源管理、漁業生産、流通加工の整合性のとれた新しい生産システムを導入することを目的として、東北水研が、東京海洋大、長崎大、民間等と共同で事業化を検討していることが紹介された。</p> <p>⑤温暖化の影響評価のための三陸常磐ネットワークの確立：東北水研から課題提案の背景、目的、具体的課題、期待される成果、検討すべき事項、予算規模について説明され、意見交換した。水産庁が概算要求中の新規委託事業に提案することを前提に論議した結果、各県機関で提案書をもとに持ち帰り検討し、財務省の予算一次内示後さらなる情報交換を踏まえて論議を継続することとした。</p> <p>また、外部資金獲得に向けた準備をする場合には東北水研に連絡してほしい旨要請された。</p>
(3) ブロックにおける調査研究活動について	
1) 平成 19 年度部会活動の報告と計画について及び平成 18 年度における協議事項のフォローアップ	<p>①本会議に先立って開催された海区水産業部会及び関連分科会、漁業資源・海洋環境部会の概要が報告され、了承された。</p> <p>②漁業資源部会と海洋環境部会が共通する課題を効率的に論議するために両部会を合同で開催したことが紹介された。</p> <p>③農水省高度化事業「種苗放流が遺伝的多様性に与えるリスクの評価と低減技術の開発（H19 - 23）」が水研センターを中核機関として開始されたことが紹介された。</p> <p>④地域研究集会「資源変動と流通加工の変化に対応した多獲性魚類の漁業生産について」、「仙台湾の環境と漁業一沿岸域の底魚資源を中心として一」を開催し課題化を検討中であることが紹介された。</p>

議 題	結 果 の 概 要
2) H18 年度研究開発成果情報について	<p>①東北ブロックに係わる研究成果情報として、岩手県から 2 件、宮城県から 3 件、福島県から 1 件、茨城県から 1 件、東北水研から 4 件、宮古栽培漁業センターから 1 件の提出があり、内容を確認した結果、若干の修正をすることにより、全 12 課題が成果情報として了承された。</p>
3) その他	<p>①東北水研ホームページから東北ブロックにおける水産関連の総合的な地域情報を発信できるようにすることが合意された。</p> <p>②各機関が開催している研究成果発表会等の現状について情報交換した結果、東北水研のホームページから関連情報を発信するため、タイトル、機関、氏名等を連絡することとした。</p> <p>③研究開発成果情報の位置付け、基準、ターゲット等について今後も継続して協議することとした。</p>

平成19年度東北ブロック水産業関係研究開発推進会議  
議事次第

期 日 : 平成19年12月10日(月) 13:30-18:05  
12月11日(火) 9:00-12:00

場 所 : 塩釜商工会議所  
(塩釜市尾島町17-8 TEL:022-367-5111)

[12月10日(月) 13:30-18:05]

開 会

挨 拶

主催者(東北区水産研究所長)

来賓(水産庁)

議 事

1. 東北ブロック推進会議の運営について
2. ブロックにおける連携協力について
  - (1) 研究開発体制の現状と問題点に関する報告(各機関)
  - (2) 平成18年度における協議事項のフォローアップ(東北水研)
  - (3) 研究開発の重要課題に関する意見交換(各機関)  
ー研究開発ニーズ、外部資金の獲得(ワカメ、仙台湾、アワビ)、モニタリング等ー

[12月10日(火) 9:00-12:00]

3. ブロックにおける調査研究活動について
  - (1) 平成19年度部会活動の報告と計画について(東北水研)
  - (2) 平成19年度研究開発成果情報について(各機関)
  - (3) その他
4. その他(連絡事項等)

閉会

## 平成19年度 東北ブロック水産業関係研究開発推進会議 参加者名簿

所 属	職 名	氏 名
青森県水産総合研究センター	所長	坪田 哲
青森県水産総合研究センター 増養殖研究所	所長	平野 忠
青森県ふるさと食品研究センター	所長	田畑 金廣
青森県ふるさと食品研究センター 下北ブランド研究開発センター	所長	長津 秀二
岩手県水産技術センター	所長	伊藤 正明
宮城県水産研究開発センター	所長	西堀 修一
宮城県気仙沼水産試験場	場長	児玉 純一
宮城県水産加工研究所	所長	新田 信一
宮城県栽培漁業センター	所長	塚田 輝夫
福島県水産試験場	場長	長澤 静雄
福島県水産種苗研究所	専門研究員	泉 茂彦
茨城県水産試験場	場長	川前 政幸
水産庁増殖推進部 漁場資源課	課長	小田巻 実
水産庁増殖推進部 研究指導課	企画調整班 企画調整係	飯田 健
仙台漁業調整事務所	資源課長	坂内 裕
水産総合研究センター		
本部	理事	井貫 晴介
本部	知的財産マネージャー	倉澤 陽子
さけますセンター	さけます研究部長	関 二郎
さけますセンター	技術開発室長	石黒 武彦
中央水産研究所	業務推進部長	入江 隆彦
水産工学研究所	漁業生産工学部長	小田 健一
日本海区水産研究所	所長	白石 學
瀬戸内海区水産研究所	業務推進部長	内田 卓志
養殖研究所	魚病診断・研修センター長	佐野 元彦
養殖研究所	業務推進課長	首藤 宏幸
宮古栽培漁業センター	場長	有瀧 真人
東北区水産研究所	所長	關 哲夫
	業務推進部長	石田 行正
	混合域海洋環境部長	平井 光行
	海区水産業研究部長	佐古 浩
	業務管理課長	小山 勉
	若鷹丸船長	船戸 健次
	業務推進課長	横内 克巳
	調査普及課長	八木澤 功
	企画調整係長	佐藤 輝樹